

福岡県議会・令和7年2月定例会 自民党代表質問が行われました !!

令和7年2月7日(金)、自民党の宮原伸一議員が「**幼児期におけるワンヘルス教育**」について、代表質問を行われました。



宮原伸一議員



服部誠太郎知事

【質問】ワンヘルス教育の実践現場となる幼稚園や保育園の関係者から、どのような声が届いているのか。

【知事答弁】

私立幼稚園振興協会や保育協会は、現場で働いておられる幼稚園教諭や保育士の皆さまにワンヘルスを知っていただくために、これらの団体の会報誌において、ワンヘルスの意義や、世界獣医師会次期会長藏内先生のこども達へのメッセージを紹介されているところです。

幼稚園教諭や保育士からは、園における芋ほりや花の植え、愛玩動物の飼育などの体験活動がワンヘルスの理念に繋がっており、このことをこども達に正しく伝えるための研修やこどもにもわかりやすい教材も必要であるとの声をいただいております。

【質問】関係者の声を踏まえ、幼児期におけるワンヘルス教育に取り組むべきだと考えますが、知事の考えを伺う。

【知事答弁】

幼児期におけるワンヘルス教育への取組については、幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を担う重要なものです。その際に、自然や動植物に触れる体験の機会を設けることで、自然への愛情を育み、動植物を命あるものとしていたわり、大切にすることが育てること、手洗いの習慣づけなど自らの病気の予防に取り組むことにつながります。

こうした体験活動を通じた幼児教育は、**人と動物の健康、環境の健全性を一体的に守る心を育てるワンヘルスの考え方の基礎**であり、幼児期からワンヘルス教育の取組を進めることは重要であると考えております。

このため、福岡県では、私立幼稚園振興協会と協議をして、協会のホームページで各園が実施している動物や植物、自然とのふれあい体験などを掲載し、事例を共有していただくこととしており、この取組を幼児教育の場全体に広げていきたいと考えております。また、四王寺県民の森などのワンヘルス体験施設やワンヘルスマスター紹介事業を幼稚園や保育園にご紹介するとともに福岡県獣医師会や私立幼稚園振興協会、保育協会等のご意見をお伺いしながら、ワンヘルスを正しく理解するための研修の実施や幼児にも分かりやすい絵本などの教材の作成を検討してまいります。

こうした幼児期からのワンヘルス教育を通じ、大人になっても、「**生きとし生けるものの命を、そして、私たちが住むこの地球を大切に**する」、このような人を育てていきたいと考えております。

2025年2月13日

福岡ワンヘルス協議会・事務局